唐泉山を仰ぎみて

嬉野市立塩田中学校
「学校だより No2」
令和８年５月１５ 日
文責：校長　宮崎武司

学校教育目標「心豊かに ともに 伸びる」

～ 仲間とともに伸びる 教師とともに伸びる 保護者・地域とともに伸びる ～

【塩田中学校生徒会】

５月初め、生徒会長・副会長と生徒会のスローガンや取組について話をする機会を設けました。生徒会長・副会長からは生徒会活動に対する素直な思いや、学校をよりよくしたいという強い気持ちを聞くことができました。

今年度の生徒会スローガンは、**「To the next stage」 ～ 気づき行動し、成長できる学校へ ～**です。

まず、スローガンの達成度とその理由について尋ねました。

副会長は、達成度は「40%」と答えました。その理由として、「主体的な行動がまだ十分とは言えないこと」、特に全校集会での返事や受け答えが十分でない場面があることを挙げていました。特に3年生。

一方で、卒業式前に卒業生へ感謝の気持ちを伝える手紙には、多くの生徒が心を込めて取り組んでいたこと、コレクトキャップス（ペットボトルキャップの回収）の活動でも、協力する生徒が多数いたことなど、できたこともしっかりと語ってくれました。

会長は、達成度は「40%～50%」とし、全校集会での発言の少なさや、コレクトキャップスの取組では、キャップが集まらなかった学級があったことを課題として挙げました。

その一方で、新年度になってクラスの雰囲気がよくなり、発言や返事ができるようになってきた学級もあると、前向きな変化についても話してくれました。

次に、生徒会スローガンから、イメージする学校・生徒の姿についても聞きました。

副会長は、「校外で進んで挨拶ができること」「教室で配布物があればすぐに配る」「困っている人がいたら声をかけ、話を聞くなど、気づいたことを行動に移せる姿」を挙げました。

会長は、「地域のことをよりよくするために、一人一人が考え、行動に移していくこと。その一つが挨拶であり、行事についても意見を取り入れて改善点があれば実行していく学校・生徒」であると話してくれました。

４月 28 日（火）には全校集会があり、大型連休を前に、生活担当の先生から連休中の過ごし方についての話がありました。その際、先生から生徒たちにいくつか質問が投げかけられました。返事や反応がよかったのが１年生・２年生でした。一方、３年生の反応はやや物足りなく感じられました。

思春期という時期もあり、「周りの目が気になる」「多くの人の前で話すことが恥ずかしい、怖い」と感じている生徒もいると思います。しかし、この１年間が、学年の雰囲気を変えていく大切な時期です。２年間共に学校生活を送ってきた仲間同士、お互いを理解し、安心して気持ちを表現できる関係を築いてほしいと願っています。そのためにはどういう行動が必要なのかを考えてほしいと思います。

【３年生修学旅行】

５月 20 日から 22 日にかけて３年生は修学旅行となります。実行委員 12 名を中心に、準備をしているところです。修学旅行への思いを、実行委員長の２人に話を聞きました。

修学旅行のスローガンは、「和 衷 協 同（わちゅうきょうどう） ～学びも仲間も この瞬間を更新中～ 」。恥ずかしながら私は、「和衷協同」という言葉を初めて聞きました。調べてみると、「お互いに心を一つにして、力を合わせて協力し合うこと」という意味があります。ぜひ、スローガンのような修学旅行になることを期待しています。

〇どんな修学旅行にしたいのか？
Ａさん：楽しく、安全に学べる修学旅行。
Ｂさん：平和についてしっかり学んで、みんなで楽しめる修学旅行。
〇「楽しい」とはどういうこと？
Ａさん：今まで話したことがない人と話して、仲を深められる。
Ｂさん：新しいこと、初めてのことが体験できること。
〇実行委員長として心掛けたいことは？
Ａさん：周りを見て行動すること。
Ｂさん：自分から率先してまとめて、話し合う。そして、自分が一番初めに動くこと。
〇3年生に求めていることは？
Ａさん:時間を守ること。
Ｂさん：人の話をしっかり聞くこと。

【PTA 総会・授業参観】

４月 24 日（金）の PTA 総会と授業参観には、たくさんの保護者の方に来校していただきました。ありがとうございます。117 名の保護者が授業を参観されていました。

授業（道徳）は、１年生「家族愛」、２年生「公徳心」、３年生「節度・節制」についての授業でした。１年生の授業の感想を紹介します。１年生の教材は、１組「靴」、２組と３組は「親シミュレーション」でした。

〔１年１組〕
・迷惑をかけているけど、その分、家族をたくさん助けたいです。
・たくさんのことを思ってくれていると思うから、感謝の気持ちをしっかりともっていきたい。
〔１年２組〕
・親が僕たちを怒ったりしているのは、自分の人生に後悔がないようにするためにしてくれているとわかりました。自分が親になったときに、嫌われても怒れるようになりたいです。
・自分で心掛けて、親から言われないようにする。そして、たまには親に「ありがとう」と感謝を伝える。
・私が親になったら子供に元気づけられるような声をかけてあげたいなと思います。家族の一員として、家族のためになるような仕事をしたいです。
【１年３組】
・相手の意見を否定せずに、受け入れてあげると、自分も相手も嫌な気持ちにならないで済むと知ることができました。意見を言い合うときは、意識していきたいです。
・あんまり親を怒らせたりしないようにしたいと思いました。でも私の気持ちもちゃんと伝えるのも大事だなと思いました。